

エンジニアパーク

Engineer Ring Park

私は北見市で生まれ、保育園の一時期を紋別市にいた以外は、小学校から大学院を修了し就職するまで北見市ですごした田舎ものです。今でも実家は北見にあり、年2回位は家族を連れて北見に帰ります。小学生の頃は、兄に連れられクワガタやザリガニの採取によく出かけていましたが、今は探してもなかなか見つかりません。都市化が進んだためでしょうか。子供の頃は実家の周りにはタマネギ畑が広がっていましたが(網走開発建設部北見道路事務所の近くです)、今では区画整備も進んで畑もなくなり、国道沿いには郊外型店舗が建ち並び学生の頃とは大分変わりました。

大学院を修了後、平成5年から現在の会社に就職し、地質技術者として19年目に突入しました。その間、主に北海道内の地すべりに関する地質調査・解析業務を担当し、これからも道内を中心に仕事をしていくものと信じていましたが、この原稿依頼を受けた後の10月に転勤辞令を受け、11月からは単身赴任で仙台にある東北支店に勤務しています。本年度は札幌にある本社と兼務ということなので、仙台と札幌を行き来しています。赴任前は、私のような田舎ものが東北でやっていけるのか?と不安でしたが、東北勤務経験のある応用地質の新田さん(原稿依頼者)から技術者として北海道を出ることは大きなプラスになるとのアドバイスを受け、東北でがんばっていこうと思っています。

10年ぶりに自分で洗濯をしました。今までと違った環境にいることはとても新鮮です。ですが、仙台市内の渋滞には慣れそうもありません。

鈴木 俊司 (すずき しゅんじ)

●応用理学部門(地質)

勤務先

株式会社 ドーコン
東北支店



→ 次号は、内田秀明さん(建設部門)

私は札幌市で生まれ育ち、仙台での四年間(大学)、札幌での二年間(大学院)を経て、東京のスーパーゼネコンに入社し、約20年間在籍の後、現在の会社に入社して約6年が経過しています。

専門は建築構造学で、前職では専ら原子力関連施設の構造計画、構造設計、耐震解析、耐震設計、施工計画、施工管理等を行って来ました。原子力関連施設は、その高い社会的重要性から、耐震性、耐久性、品質、コスト、安全性、工程といったトレードオフの関係にある問題を解決しながら計画を進める難しさが、まさに技術士に求められる高度な専門的応用能力が必要とされます。このような貴重な実務経験の積み重ねが、技術士の取得に結びついたのであっております。

現在は技術職ではなく、会社の管理部門全般を統括する立場ではありますが、技術士取得の過程で学んだ事項(5つの管理項目、リスクマネジメント、トレードオフの関係にある問題の解決プロセス等)は実業務に大いに役に立っており、苦勞した試験準備は決して無駄ではなかったと痛感しております。

日本技術士会北海道本部においては、現在業務委員会委員を担当させて頂いておりますが、委員会活動や講演会等を通じて、専門、分野を越えたお付き合いが出来る人的ネットワークがどんどん広がっております。このことは、技術士ならではの貴重な財産であり、技術士を取得して本当に良かったと思っております。

今後も業務委員会活動等を通じて、技術士の地位・知名度の向上、業務の拡大等に微力ながら貢献できればと思っておりますのでどうぞよろしくお願い致します。

岩田 徳夫 (いわた とくお)

●建設部門(鋼構造及びコンクリート) / 総合技術監理部門

勤務先

岩田地崎建設 株式会社
管理本部



→ 次号は、住友 寛さん(農業部門)